

(参考) 黒星病の発生状況: 5月10日時点

## 1 芽基部病斑の発生状況

- 芽基部病斑率(14園地の平均)は0.13%で、前年同様、低い結果でした(図1)。

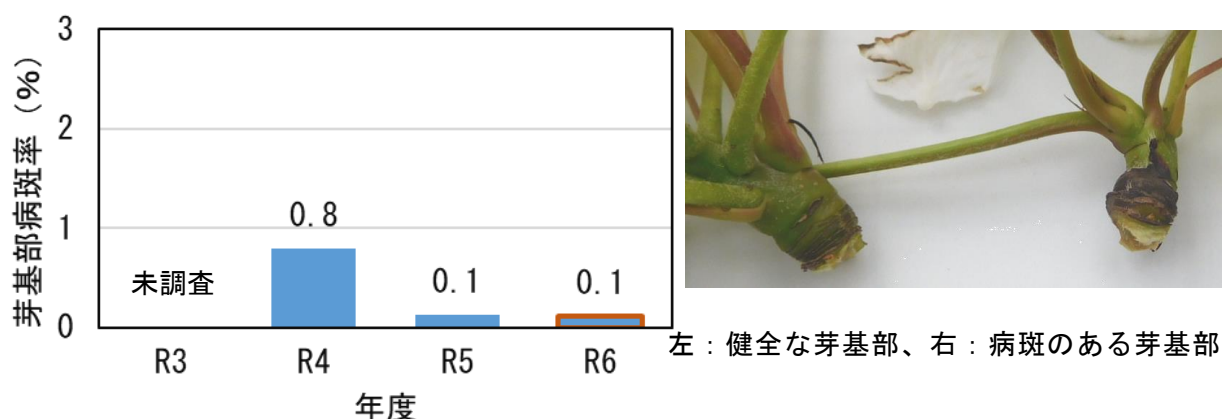


図1 芽基部病斑の発生状況

## 2 春型病斑の発生状況

- 今年は、春型病斑が芽基部病斑とほぼ同時期の4月下旬に確認されました。
- 春型病斑の発病果そう率(14園地の平均)は3.6%で、前年に比べ少なく、平年並みでした(図2、図3)。
- 今年は、春型病斑が芽基部病斑とほぼ同時期の4月下旬に確認されました。
- 発病部位は、果実が全体の約半分を占めました(図略)。

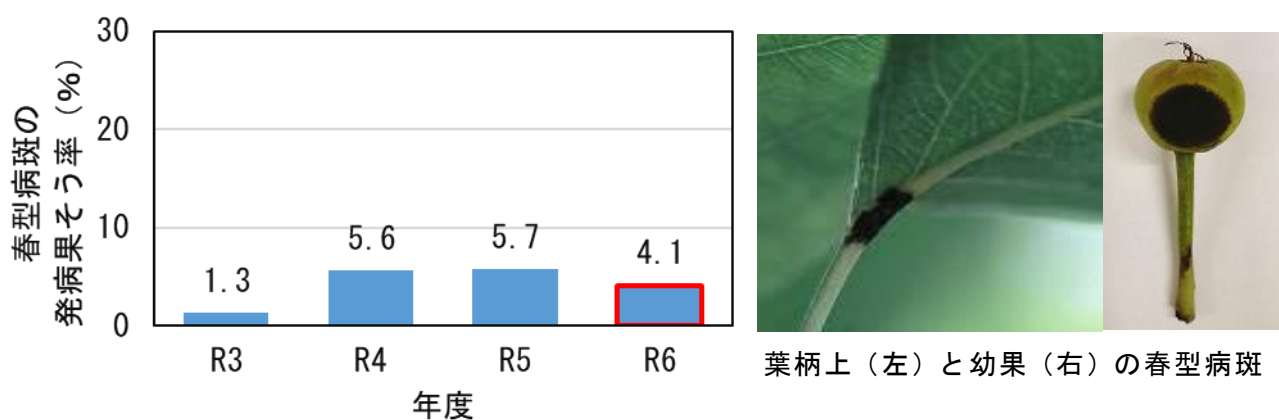


図2 春型病斑の発生状況

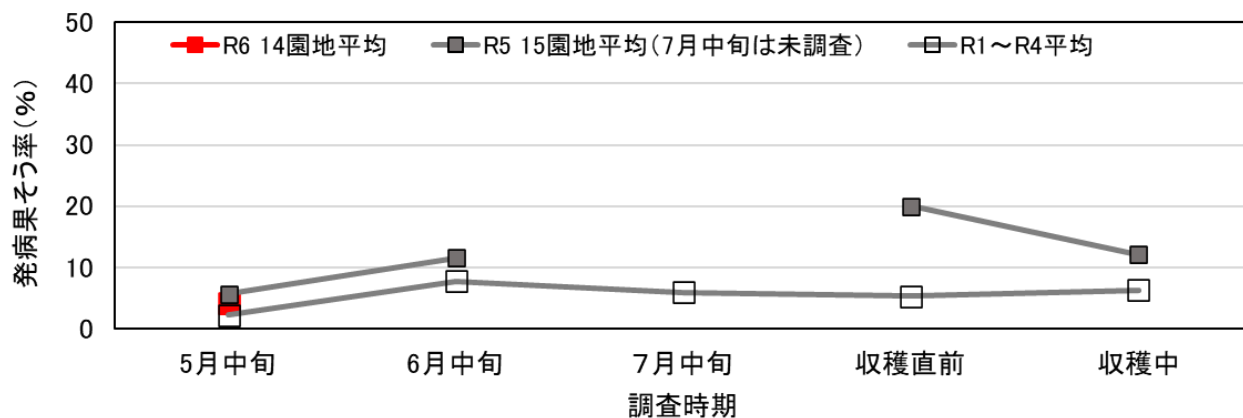


図3 春型病斑が確認できる5月中旬から収穫までの発病果そう率の推移